

令和元年8月29日

# まちづくり委員会資料

こすぎコアパーク及び周辺のさらなる魅力向上  
に向けた取組の推進について

建設緑政局

# こすぎコアパーク及び周辺地域のさらなる魅力向上に向けた取組の推進について

## 1 こすぎコアパークの概要

こすぎコアパークは、「まちの玄関口」として、武蔵小杉周辺地域の核（コア）に位置し、東急武蔵小杉駅南口に隣接する都市公園である。昭和41年に都市計画決定し整備された「小杉第一公園」が、武蔵小杉駅南口地区西街区の第一種市街地再開発事業（平成16年12月都市計画決定）による都市型住宅、大型商業施設等の整備に伴って、平成26年に移設・再整備され、ゆとりあるオープンスペースを有する公園となっている。



## 2 現状

### (1) 管理運営状況

町内会、商店街、NPO法人小杉駅周辺エリアマネジメントから構成されるこすぎコアパーク管理運営協議会が設立（平成27年9月）され、地域イベント等の利用調整や清掃等の日常的な維持管理などが行われている。

### (2) 利用状況

町内会・自治会や再開発によるマンション居住者等の地域住民の交流の場として定期的にイベントが開催されているほか、毎週末にラジオ体操が行われるなど、賑わいや交流の場として利用されている。

〔参考：主なイベント〕

・コスギンピック（6月）・こすぎ盆踊り大会（7月）・コスギフェスタ（10月） など



## 3 課題

- ・ 休日はイベントなどが開催され、多くの人で賑わっているものの、休憩施設等が少ないこともあり、イベント時以外は、通過経路としての利用が多く、賑わいや憩いの場としての利用が少ない。
- ・ 公園の植栽帯と東急武蔵小杉駅高架下のフェンスにより公園と駅が分断されており、まちの玄関口にふさわしい回遊性が確保されていない。
- ・ 駅に隣接する植栽帯付近が、公園の死角となっており、ゴミのポイ捨てがされやすい状況となっている。

※以上の状況を踏まえ、平成31年2月19日にこすぎコアパーク管理運営協議会から市に「こすぎコアパークの活性化に向けた地域要望書」が提出されている。



## 4 取組の方向性

こすぎコアパークが東急武蔵小杉駅に隣接している立地特性等を踏まえ、以下の取組を推進する。

- ・ 駅前の貴重なオープンスペースとして、限られたスペースを最大限活かした日常的な賑わいと憩い、出会いと交流の空間づくり
- ・ 公園の美化の推進や安全性の向上による美しく快適な環境づくり
- ・ 公園と隣接する東急武蔵小杉駅等との一体的な空間利用による回遊性の向上
- ・ 町内会・自治会や再開発によるマンション居住者、商店街やNPO、事業者等の多様な主体が集い、つながることによる地域コミュニティの活性化

以上の取組を着実に進めるため、こすぎコアパークと東急武蔵小杉駅及びその周辺地域の一体的な整備や適切な管理運営が不可欠となることから、こすぎコアパークの駅前の立地特性とこれに隣接する鉄道施設の公共性を相互に活かし、東京急行電鉄㈱と連携・協力して取り組んでいく。

## 5 整備イメージ

